

# 13 . 柔 道 競 技 実 施 要 項

- 1 主 催 大分県高等学校体育連盟
- 2 期 日 令和 6 年 6 月 1 日 ( 土 ) 9 : 30 ~ 監督審判会議  
 10 : 00 ~ 開会式  
 10 : 15 ~ 団体戦競技開始  
 6 月 2 日 ( 日 ) 9 : 30 ~ 監督審判会議  
 10 : 00 ~ 男女個人戦競技開始
- 3 会 場 大分スポーツ公園 「 レゾナック武道スポーツセンター:道場 2・3 」
- 4 競技規則 (1) 国際柔道連盟試合審判規定による。  
 (2) 男女試合時間は、**3分**とする。  
 (3) 団体試合は、優勢勝ちの判定基準は、「技有」以上とする。技による評価が同等の場合は、「僅差」で判定する。但し、僅差は「指導差が2」以上とする。対戦内容が同等の場合は、その対戦に出場した選手の中から任意に選出して代表戦を行う。代表戦の判定基準は団体試合に準じて行うが、得点差がない場合は、個人戦に準じた判定基準で延長戦(ゴールデンスコア)を実施し、勝敗を決する。  
 (4) 個人試合は、優勢勝ちの判定基準は、「技有」以上とする。但し、技による評価が同等の場合は、「僅差」で判定する。但し、僅差は「指導差が2」以上とする。内容が同等の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。(技の効果、指導1リードで勝ちとする)
- 5 競技方法 (1) 団体試合  
 ア) 男子は3校程度による予選リーグを行い、1・2位校によるトーナメント戦により上位4校を決定する。順位決定は上位4校によるリーグ戦を行う。(令和6年度のみ)  
 イ) 女子はトーナメント戦により上位4校を決定し、順位決定は上位4校によるリーグ戦を行う。(令和6年度のみ)  
 (2) 個人試合  
 ア) 個人の部については、男女別に以下の7階級とする。  
 男子 60kg級・66kg級・73kg級・81kg級・90kg級・100kg級・100kg超級  
 女子 48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・70kg級・78kg級・78kg超級  
 イ) トーナメント方式により上位4名を決定し、順位決定は上位4名によるリーグ戦を行う。(令和6年度のみ)  
 ウ) 体重測定は、6月1日(土)団体戦終了後1時間以内に実施する。なお、時間に遅れた者及び体重オーバーの者は失格とする。
- 6 参加資格 「第72回大分県高等学校総合体育大会実施要項」の参加資格に準ずる。
- 7 参加制限 (1) 団体戦  
 ① 男子のチーム編成は、監督1名・選手5名、補欠2名の計8名以内とする。  
 (男子団体試合は、3名もしくは4名でのエントリー可能。ただし後ろ詰めにすること)  
 ② 女子のチーム編成は、監督1名・選手3名、補欠1名の計5名以内とする。  
 (女子団体試合は、2名でのエントリー可能。ただし後ろ詰めにすること)  
 (2) 個人戦  
 ① 男女ともにフリーとする。  
 ② 外国人留学生の参加に関しては、各学校のエントリー数(種目数ではない)の概ね20%以内とする。但し、当該校のエントリー数が5名未満の場合は、1人以内とする。
- 8 参加申込 No13 男子・女子の様式をダウンロードして作成し、各2部印刷・捺印して、所定の学校一括申し込みとする。なお、承認を得た申込電子データは、期限内に下記へメールで送信する。  
 (ファイル名:競技/性別/校名/監督名 )  
 メールアドレス [abe-eiichirou@oen.ed.jp](mailto:abe-eiichirou@oen.ed.jp) (データ送信期限:5月8日(水)正午必着)  
 大分西高等学校内 専門部 副委員長 阿部栄一郎
- 9 参加負担金 選手1人(補欠を含むエントリー)加盟校600円・非加盟校1000円。学校一括で納入する。

- 10 出場権の獲得 団体戦・個人戦ともに、1位・2位のチーム・個人に全国大会・九州大会の出場資格を与える。  
(令和6年度のみ)
- 11 組合抽選 (1) 令和 6年5月14日(火) 9:00～ 大分工業高校  
(2) 組み合わせ抽選は、支部代表による専門委員会で抽選基準に基づいて行う。
- 12 連絡事項 (1) オーダーの変更は認めないが、事故があるときは、5月31日(金)までに変更届けと診断書のコピーを専門委員長に提出し、監督会議においてのみ補欠交代を認める。会議前に診断書原本提出。  
(2) 補欠の交代は交代者の位置に入れ、一度退いた選手は再び競技に出場することはできない。  
(3) 脳振盪の対応について  
① 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。  
② 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して該当大会に出場することは不可とする。  
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)  
③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。  
④ 該当選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。